

Rotary Club of Satte Chuo

2024-2025年度RIテーマ

The Magic of Rotary



会長 中田 盛夫 事務所；埼玉県幸手市南2-6-20 G-Five内
 幹事 池田 岩夫 〒340-0156 TEL & FAX 0480-44-0056
 例会日；火曜日19：30～20：30 例会場；G-Five 1階会議室

国際ロータリー会長 第2770地区 ガバナー 2024年 8月20日 火曜日
 ステファニー A. アーチック氏 岡村 睦美氏(川口RC) 第1178回例会 No.6

[開会]

[開会点鐘]

[ロータリーソング斉唱] 奉仕の理想

[四つのテスト唱和]

[ビジター紹介]

地区米山記念奨学部門委員長

小林 達郎様



米山記念奨学生

周 芷煊さん



[会長挨拶] 中田 盛夫会長

みなさんこんばんは、本日は 1178 回例会にご参加いただき誠にありがとうございます。また米山奨学生周さんいつもありがとうございます。

そして本日は講師として米山部門 小林部門委員長様、急なお願いにも対応いただき誠にありがとうございます。

さて、先日 8/17 日土曜日に、地区青少年奉仕部門・ローターアクト特別推進委員会合同セミナーに小島さんと一緒に参加してきました。前回の職業奉仕セミナーもそうでしたが、今年はセミナーだけでなく、ラーニングもするというので、各テーブルに分けてディスカッションも行われまして、委員会だけの一方的な説明だけでなく、ディスカッションでは他クラブの情報も聞けるので今年は有意義なセミナーになっていますので、みなさん是非参加してみてください。

で、話は戻しますが、今回の青少年奉仕セミナーで

は、国際基督教大学(ICU)の「ニコールさん」から「平和の定義」として講演や、昨年ドイツ派遣の幸手クラブスポンサーの小川君の帰国報告もありました。セミナー終了後、帰宅途中の電車の中で「青少年交換学生で印象に残っている学生って誰だろう？」て思い出してみました。私は、自分がホストファミリーをしたウルズラさんと、尾曾なおこさん、それと、金子まさひろさんと、フェルナンドさんでした。もったいたよなって思い返してみると、昨年の彼や、メキシコの彼女？もいましたよね？あまり思い出せないけど、短期の受け入れだから印象がうすいのかな？スポンサーになってないから？などと考えてみました。みなさんはどうですか？

私たちが印象薄いと感じるのは、学生も一緒だと思います。先日もウルズラさんから「9月に幸手に来る」と連絡がありました。尾曾さんや金子君も近況報告がありますのでやはりスポンサーになってないと連絡もなくなるんだなと思います。

青少年交換ってロータリーとしてすごく良いことをしているのもわかっていますが、幸手中央がスポンサーになって送り出し、受け入れをしないとクラブにとってメリットは少ないのかなと思いました。今後は会員拡大をして、会員数と財政面でも問題なく青少年交換のスポンサーになれるようになっていこうと思います。

そのためにも会員拡大を宜しくお願いします。

[幹事報告] 池田 岩夫幹事

本日の幹事報告は特別にはございません。



[委員会報告・その他報告]

石橋久充会員より

8/8 に 2018-19 年度にメキシコに派遣された宝達 凜さんからインスタのメッセージに「近況報告とお伺い」ということで、連絡がありました。



文面を紹介しますと;

「現在、立教大学を休学し、文部科学省が展開する「飛び立て留学ジャパン」に選出していただき、11 月から世界一周が決まりました。将来の目標は「自分に、環境に、全ての生命にやさしい化粧品を作り届ける」ことです。今の自分があるのは、16 歳という多感な時期にメキシコに派遣していただいた経験があるからです。感謝の気持ちでいっぱいです。今回お伺いしたいことがあり連絡させていただきました。」

その内容は;

来年度の青少年交換留学の派遣生の受入れをしているかどうかを確認したいようでした。妹さんが留学したいということで受け入れ先を探していて、幸手クラブには電話をし、今は返事待ちになっているみたいです。幸手クラブで受入れ出来れば良いですが、それが無理なら幸手中央さんでご検討いただけないでしょうかという内容でした。幸手クラブと幸手中央クラブの識別が出来ていなかったようですが、とにかく妹さんの青少年交換留学の受け入れクラブを探していますという連絡がありましたのでお知らせいたします。

[本日の例会]

米山記念奨学委員会外部卓話
地区米山記念奨学部門

部門委員長 小林 達郎様

みなさん、こんばんは。8/10 に

米山部門セミナーを開催したところです。

学校の指導教官を含めて 150 名位の参加でした。今年のガバナーはラーニングセミナーということでインプット型ではなくてアウトプット型でテーブルディスカッション形式でやって欲しいとのことでしたが、米山部門は、米山の基本的な知識と全国で 3 人いらっしゃる「よねやま親善大使」の中で陳 瑶(チン ヨウ)さんに講演いただきました。

今年の米山部門のスローガンは、「米山奨学事業の



素晴らしさを伝えよう」です。米山奨学事業というのは、ロータリアンの寄付だけで成り立っていますので、巣立っていった学生が活躍していたり、ロータリーとのかかわりの中で成長してくれる姿を見ることで米山の「良さ・素晴らしさ」が分かると思っています。

このあと、プロジェクターを使って資料を見ながら説明していきます。

2024-25年度 国際ロータリー第2770地区
米山記念奨学部門セミナー

【シンボルマークの意味】
重なり合うハートは「ロータリアン」と「留学生」を表しています。外国人留学生への支援・交流を通じて、国を超えた絆や信頼関係を築き、やがて一人ひとりの胸に世界平和を刻む「心」を育てるといふ、事業創設の趣い込められています。手は、そうし「心」を生み出すと同時に、この事業がロータリアンの手で支えられていることを示しています。

Rotary
ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2770 DISTRICT YONEZAWA DIVISION

メンバー構成

米山記念奨学部門	担当 諮問	大貫 等 (上野RC)
	部門委員長	小林 達郎 (幸手中央RC)
米山記念奨学増進委員会	委員長	小川 和義 (滝根イブニングRC)
	副委員長	若盛 主恵 (松伏RC)
◆寄付の増進	委員	平田 利雄 (浦和東RC)
◆奨学生卓話派遣	委員	南保 剛 (浦和ダイヤモンドRC)
	委員	渡邊 克巳 (杉戸RC)
	委員	富岡 快雄 (松伏RC)
米山記念奨学学友選考委員会	委員	本多 賢太郎 (川口東RC)
	委員長	小平 啓介 (大宮南RC)
◆学生の選考	副委員長	田邊 利幸 (上野西RC)
◆世話クラブ選考	委員	佐野 敏樹 (浦和東RC)
◆学友との連携	委員	名取 俊行 (大宮ステイRC)
	委員	加藤 始 (蓮田RC)
	委員	村上 博康 (鳩ヶ谷RC)
	副幹事	金子 邦彦 (川口RC)

米山記念奨学事業の概要

- 日本のロータリー**独自の**事業 (RIが定める多地区合同活動の手続を完済)
- 日本で学ぶ**外国人留学生**を支援 (公益財団法人を設立し運営)
- **世話クラブ・カウンセラー**制度で交流を重視 “人を育てる事業”

日本のロータリー34 地区すべてが参加する合同事業です。1952 年に始まって以来、一貫して日本で学ぶ外国人留学生を支援しています。

日本のロータリーの父

米山 梅吉氏 (1868-1946)

- ポール・ハリス氏と同じ 1868年に誕生
- ダラスRC会員の福島喜三次氏と米国で出会い、1920年、日本で最初のロータリークラブ、東京RCを創立
- 日本初の信託会社、三井信託株式会社を設立



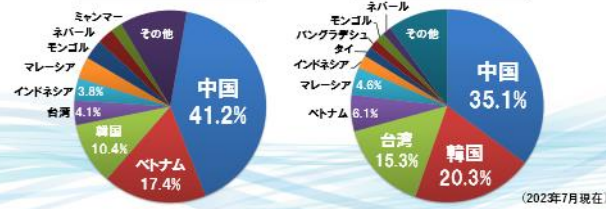
「米山基金」 から70年



国内最大級の奨学生数

2023 学年度 **900人**
新規649人/継続251人

累計**23,509人**
131の国と地域



最近ではベトナムの方が多くなってきました。

Q なぜ中国人奨学生が多いのですか？

- ✓ 日本の高等教育機関で学ぶ外国人留学生のうち、**47.2%**が中国人
- ✓ 「指定校推薦」= 在籍留学生の国籍割合に比例
- ✓ 選考委員会は偏りをなくすよう配慮しています

米山記念奨学事業予定

- 4月 6日 2024学年度生・カウンセラー初顔合わせ
※以降、世話クラブ例会へ出席。当地区では毎回出席を推奨
- 4月 21日 2024学年度生 入学式
- 5月 18日 学友会主催、春のバス旅行
※主に米山記念館。カウンセラーや他の奨学生との交流が目的。
- 7月 19日 指定校説明会 (指定校選定委員会～7月上旬指定校報告)
- 7月 28～29日 富士登山 ※非公式行事だが奨学生に人気
- 8月 10日 米山記念奨学部門セミナー
- 10月 19日 カウンセラー研修
- 11月 17日 地区大会

全国的に公平な裁量になるように面接官のオリエンテーションを行っています。オリエンテーションを受けないと面接官にはなれない仕組みになっています。

米山記念奨学事業予定

- 11月 23日 学友会主催、秋のバス旅行
- 12月 7日 面接官オリエンテーション
- 12月 15日 感謝の集い
- 1月 18日 2025学年度生 面接
- 3月 16日 2024学年度生 修了式
- 4月 6日 2025学年度生・カウンセラー初顔合わせ
- 4月 21日 2025学年度生 入学式
- 5月 17日 学友会主催、春のバス旅行
- 6月 日 指定校説明会 (指定校選定委員会～7月上旬指定校報告)

ロータリー一年度と学生の年度のずれがありますが、4月から3ヶ月間は私どもの責任において行っています。

クラブ会長・米山委員長様へお願い

— ご注意いただきたいこと —

- ◆ 世話クラブ選考の寄付実績は「当該年度」を含む**2年半**なので7月～12月未までの寄付が有利です
※当該年度の会長・米山委員長の努力(7～12月)が、当該年度中(4月からの奨学生)に反映されます。
- ◆ なお、普通寄付も年払が可能です(半期でなくても可)
- ◆ 特別寄付者割合はあくまでも「%」なので、例えば**一人100円でも全員が出せば100%**です
- ◆ ①入学式 ②感謝の集い ③修了式に、世話クラブから誰も出席しなかった場合、**得点から20%減額**します
(あまりお世話をしていただけないクラブとみなし、他の熱意あるクラブに権利を譲っていただきます)

クラブ会長・米山委員長様へお願い

10月と3月の米山月間 奨学生卓話について

世話クラブ以外の皆様へ
奨学生にとっても例会卓話はロータリアンとの相互理解に大変良い機会です。ぜひ積極的に依頼をお願いいたします

世話クラブの皆様へ
10月の米山月間に備え、部門では9月14日(土)に卓話研修を行います。ぜひ以降の9月のクラブ例会で、他クラブへ行くときの「練習」の機会をつくり内容のアドバイス等をしてあげてください。また、他クラブへ行くとき、メーキングアップで「応援団」にいくクラブもたくさんあります

【卓話の内容】
◆ 人となりや、母国や故郷・家族のこと、◆ 研究のことは簡単に(会員は業人)
◆ 将来の希望のこと、希望が叶うと母国の価値が高まること。その結果日本との関係はどうなるか。世界の発展と平和に貢献できるか。◆ 奨学生になって自分にどんな変化があったか(会員が共感できる卓話望ましい)

クラブ会長・米山委員長様へお願い

ハラスメントの認識

相手が不快と思ったらハラスメント!
「そんなつもりはない」は通じません

RIの方針: Zero Tolerance / 容認なし

- ⇒ 相手を尊重し、異文化理解の姿勢
- ⇒ 何が該当するのが「認識」が防止策
- ⇒ 日本、そしてロータリーへの理解者を育てる

クラブ会長・米山委員長様へお願い

セクハラ～セクシャルハラスメント

- ◆ 飲んだ席で思わず…
お酒が入るとどうしても… こんなことありませんか？
- ◆ 写真撮影で肩を抱き寄せる、会うとハグをする
- ◆ 懇親会で夜の遅い時間まで引き止める
- ◆ かわいい、足がきれい等と容姿のみほめるなど
- ⇒ 信頼関係なく、奨学生と二人きりにならない
- ⇒ お酒を無理に勧めない、奨学生と酔って接しない
- ⇒ ロータリアンとして品位ある言動を

クラブ会長・米山委員長様へお願い

パワハラ～パワーハラスメント

- ◆ お金を出してやっているのだからという高圧的な接し方は大きく誤解や不信を招きます
- ◆ 国家間の政治問題は、信頼関係ができてから語り合えば一方的な主張になりません
- ◆ 宗教・習慣は、尊重すべき事柄です。
- ⇒ 不安や恐怖心を与える言動や状況に注意を奨学生は弱い立場にあります。
- ⇒ ロータリアンとして品位ある言動を

ハラスメントについては、文化や環境によって感じるところがそれぞれ違いますので特に気を付けていただきたいと思ひます。

思いやりの心をいつも持ち続けて対応していただければ良いのではないかと思います。

米山部門からお願い

- ◆ロータリーの良き理解者として、将来日本と母国との懸け橋になるなど、国際親善に尽くす人材の育成が使命
- ◆奨学事業の価値はどんな学生を採用したかで決まるが、米山奨学事業ではさらにどんな風に育てたか、育ってくれたかが重要
 - どんな学生を採用するか → 地区の役員
 - ロータリーのよき理解者としてどう育てるか → クラブ・地区

思いやりの心で

この事業の成功には、奨学生とロータリアンの良好な関係が欠かせません。奨学生と接する際はぜひ、「自分の子供や孫が海外に留学したら、現地の大人にどんな風に接してもらえたらうれいだろう」と考えてみて下さい。それは生前、米山梅吉氏がよく口にされた「何事も、人々からして欲しいと望むものは、人々にもそのようにせよ」という言葉、そしてロータリーの「思いやり」の心そのものではないでしょうか。

※米山寄付増進について

ご寄付のお願い

全体支出の**97%**が事業費

- 2022-23年度は学友からの高額寄付もあり、
- 前年度から7,700万円増

寄付金総額: 14億2,292万円		配当金 194,130
収入	普通寄付金 409,748	特別寄付金 1,013,168
		— 利息収入 20,765
事業費計: 14億4,012万円		当期正味財産増加額 154,605
支出	奨学金 1,222,070	補助費ほか 218,051
		— 管理費 43,083

(単位:千円)

寄付金の種類

RI2770地区の目標は各クラブ25,000円×会員数

普通寄付金

- ✓ 財団法人設立時の約束
- ✓ 奨学会の安定財源
- ✓ 5,000円×会員数

特別寄付金

- ✓ 個人・法人・クラブからの任意寄付
- ✓ 1円～OK! 表彰対象
- ✓ 20,000円×会員数

表彰制度【個人寄付】

累計額	表彰名	表彰品
3万円	準米山功労者	
10万円	第1回米山功労者	感謝状
20万～90万円	(以降10万円毎に) 第2回～9回 米山功労者マルチプル	感謝状 +50万円のみピンバッジ(銀色)
100万～390万円	第10回～ 米山功労者 メジャーダー	感謝状 +100万円毎にピンバッジ(金製)
400万円～		感謝状 +100万円毎にクリスタル盾



▲50万円の表彰品 (ピンバッジ)

奨学会での選考 (各地区へ奨学生の割り当て)

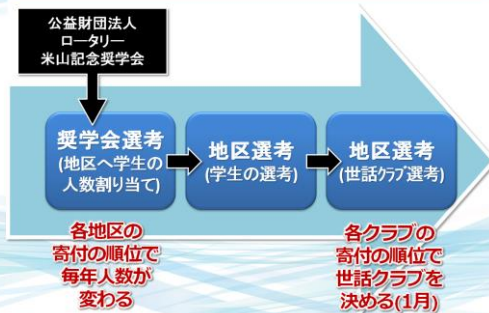
米山奨学会から各地区への奨学生の割り当て基準 (寄付が多くなれば、より多くの学生が当地区へ来ます)

- ◆各地区の、過去2年の寄付合計の順位で人数が決定
- ◆個人平均寄付額より寄付金総額を重視 (会員数の多い地区が有利)
- ◆特別寄付者割合も対象 (2018年より、特別寄付をした人が何%いるか)

過去2年合計金額	個人平均寄付額 (30%)	寄付金総額 (50%)	特別寄付者割合 (10%)	その他 ※ (10%)
2770地区の順位→	2022-23 全国3位	2022-23 全国5位	2022-23 全国7位	(有資格者数)

※その他の「有資格者数」とは、地区エリア内に住む外国人留学生がいるかどうかであり、大学の多い影響が有利となります。(当地区の努力等で変化するものではありません)

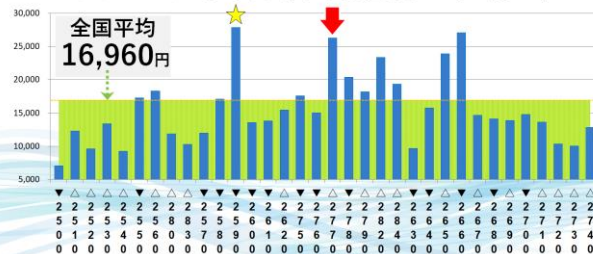
奨学生・世話クラブの選考について



2022-23寄付実績

個人平均寄付額

- 当地区の平均寄付額 26,268円 (第3位)

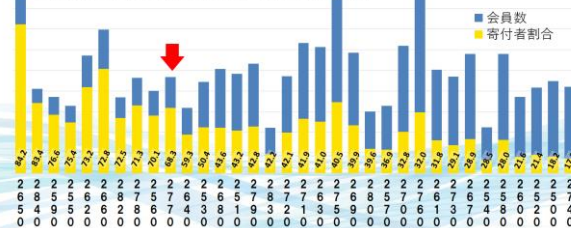


特別寄付者割合は、寄付金額はいくらでもよくて会員ん尾何パーセントの方が寄付をしてくれたかということの割合です。

2022-23寄付実績

特別寄付者割合

- 全国平均 47.3% 当地区 68.3%
- 最大 84.2%(2650)、最小 17.2%(2740)



法人寄付をしてみませんか?

2770地区は法人寄付が極端に少ない

米山記念奨学会は「特定公益増進法人」に認定されているため一般の寄付金損金算入限度額の外に、別枠の損金算入も可能です

[損金算入限度額の計算式]

◆一般損金算入限度額
= (資本金等の額×0.25% + 所得金額×2.5%) × 1/4

◆特別損金算入限度額
= (資本金等の額×0.375% + 所得金額×6.25%) × 1/2

※所得金額は支出した寄付金を損金算入しないものとして計算。また当年度は12か月として計算。
※特定公益増進法人に対する寄附金の合計額、特別損金算入限度額のいずれか少ない金額が損金算入。
※特定公益増進法人に対する寄附金のうち別枠に算入されなかった金額は、一般の寄附金の額に含める。
※詳細は各法人の経理担当部門にご確認ください。

法人寄付をしてみませんか？

法人所得の約4%ほどが損金に

例①資本金1,000万円、所得金額 500万円の場合
 一般損金算入限度額 = (1,000万円×0.25% + 500万円×2.5%) × 1/4 = 37,500円
 特別損金算入限度額 = (1,000万円×0.375% + 500万円×6.25%) × 1/2 = 175,000円
合計 212,500円 まで損金算入可能

例②資本金1,000万円、所得金額1,000万円の場合
 一般損金算入限度額 = (1,000万円×0.25% + 1,000万円×2.5%) × 1/4 = 68,750円
 特別損金算入限度額 = (1,000万円×0.375% + 1,000万円×6.25%) × 1/2 = 331,250円
合計 400,000円 まで損金算入可能

※地区では、銀行の支店名等で地域イベントの協賛と同じような形で法人寄付をするケースも多いです

昨今の日本と諸外国の関係をみると、将来へ向けて若者に民間外交の種をまく米山事業は、今まさに重要性を増しているのではないのでしょうか？**皆さんのお子さんやお孫さんが中心となる時代が、今よりもっと、国際理解・親善・平和の進んだ世界になるよう「未来の懸け橋」をつくる投資を皆さんの企業でしてみませんか？**

2024学年度 国別・大学別・課程別一覧

国名	継続	新規	合計	大学名	継続	新規	合計
中国	5	9	14	埼玉大学	4	7	11
ベトナム	4	5	9	文教大学	1	3	4
台湾	0	1	1	聖学院大学	1	2	3
韓国	1	1	2	芝浦工業大学	1	1	2
ルワンダ	1	0	1	共栄大学	3	7	10
モンゴル	0	1	1	日本工業大学	0	3	3
ミャンマー	0	1	1	独協大学	1	1	2
ネパール	0	4	4	日本薬科大学	0	1	1
マリ	0	1	1	S大学	11	25	36
マレーシア	0	2	2	課程	継続	新規	合計
	11	25	36	学部課程	8	16	24
				修士課程	2	5	7
				博士課程	1	4	5
					11	25	36

世話クラブの選考

2770地区は米山への理解が深く、**新規奨学生約25名に対し毎年50以上のクラブ**から世話クラブへの申込があります

なるべく多くのクラブへ世話クラブになってもらえるよう努力

- ◆他の地区より多くの採用枠を得るため寄付増進をお願い
- ◆公平性を保てるよう、世話クラブの選考を工夫

- ①個人平均寄付額を重視
 ◆米山への「熱意」を重視 ◆寄付総額を重視すると会員が少ないと不利
- ②奨学生が来てないクラブを優遇
 ◆2年半の個人平均寄付額の合計を、2年間に1年奨学生がいた場合**1/2**に、2年奨学生がいた場合**1/3**に修正 (来てないクラブは金額そのまま)
- ③偏差値を使用(差がつき過ぎないよう)
 ◆金額そのままでは、寄付総額は10人と100人のクラブで10倍差になる

世話クラブの選考 (当地区の選考基準)

選考での寄付実績は、当該年度12月末まで+過去2年を使用
 当該年度の7~12月の努力により、当該年度の4月からの奨学生が決まります



地区米山寄付状況 ※地区目標額25,000円未達成のクラブ…29クラブ

クラブ名	人数	目標額	達成率	寄付金総額	個人平均寄付額	偏差値	特別寄付者割合	奨学生数
東海	30	25,000	100%	507,500	2,358.33	28.444	11.78%	0
...
未達成クラブ (29)	...	25,000	<100%

クラブ名	人数	目標額	達成率	寄付金総額	個人平均寄付額	偏差値	特別寄付者割合	奨学生数
東海	30	25,000	100%	495,000	2,316.67	28.399	12.38%	0
...
未達成クラブ (29)	...	25,000	<100%

地区での奨学生の選考

- ◆1月に面接試験 (応募する学生は70名超)
 - 7~8の会場に分けて、2~3名の面接官で面接を行う
 - 1つの部屋で、上位2名は合格決定
 - 部屋別に点差がつき過ぎないよう、偏差値に換算して順位を決定 (点のつけ方に、甘い・辛いなど個人差がどうしても出るため)
 - 出身国や大学が偏らないように、地区推薦点を加えて調整
 - 2月上旬までの奨学会へ合格者と補欠者を報告

- ◆世話クラブの順位を決定 (当該年度の12月末時点+過去2年の結果)

- ◆各クラブへ奨学生を割り当て
 - 基本は学生の最寄駅から例会場の最寄駅の「近いやすさ」
 - 近いやすさが変わらない場合、寄付の順位の高いクラブへ試験の順位が高い学生を順に割り振ります

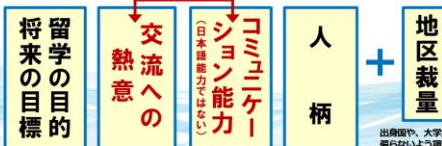
※奨学生選考・世話クラブ選考について

地区での奨学生の選考

公正な選考を行うために、全国統一の採用基準

(指導教員の推薦状・研究計画・小論文等、書類選考の得点・面接試験での得点、地区推薦点など)

- ◆経済状況、家庭状況は評価対象外 (非救済型)
- ◆勉学への意欲が高い、人物面や学業面が優秀で、将来、日本との懸け橋になりうる人材を評価



世話クラブの選考

— ご注意ください —

- ◆世話クラブ選考の寄付実績は「当該年度」を含む2年半なので7月~12月末までの寄付が有利です
 ※当該年度の会長・米山委員長の努力 (7~12月) が、当該年度中 (4月からの奨学生) に反映されます。

なお、普通寄付も年払が可能です (半期でなくても可)

- ◆特別寄付者割合はあくまでも「%」なので、例え一人100円でも全員が出せば100%です

- ◆①入学式 ②感謝の集い ③修了式に、世話クラブから誰も出席しなかった場合、得点から20%減額します (あまりお話をしていただけないクラブとみなし、他の熱意あるクラブに権利を譲っていただきます)

その他、寄付の取り組み例紹介

各クラブの取り組み例 (地区目標個人平均25,000円に対して)

- ◆ 会費から25,000円を集め、他に任意で払う人もたまにいる
- ◆ 会費から25,000円の「数倍の額」を集めている
- ◆ 会費から10,000円のみを集め、足りない分は任意で集めている
- ◆ 会費から普通寄付5,000円のみを集め、あとは任意で集めている
- ◆ 会費とは別に、全員から25,000円を集めている
- ◆ 任意だが、ほぼ全員が25,000円の「数倍の額」を払っている

他地区の取り組み例

- ◆ 例えば在籍30年の会員に「記念に30万円の寄付を」等メモリアル寄付を推奨している地区があります (地区全体で寄付額アップしたそうです) (30年の30万は言いにくいかもしれませんが、10年ごとに10万くらいではいかがでしょうか)

第5代 よねやま親善大使 プロフィール

陳 瑶 (チン・ヨウ)

CHEN YAO

愛称: マリオ

- 出身: 中国
- 視学期間: 2012年4月~2014年3月
- 視学期間中の所属大学: 四日市大学
- 世話クラブ: 国際ロータリー第2630地区 四日市東RC



2008年に中国の西安から来日し、大阪外語専門学校で日本語を学んでから三重県の四日市大学に入学。貢献賞、経済部長賞、学長賞などを受賞し卒業。進学した東京外国語大学博士前期課程を主専攻で卒業後、2016年4月に東京の会社に入社。2017年12月に中国・上海へ半年間派遣されるなど、グローバルな案件に携わる。2018年5月東京本社に戻り、新規事業に携わり、会社の新規営業モデルの確立に貢献。中国国家衛生健康委員会と厚生労働省、各医科・薬科大学のトップ層会談や医学術交流において通訳を担当した経験を持つ。

<その他学友会活動など>

- 2016-17年 2750地区 米山学友会 幹事
- 2018-20年 2750地区 米山学友会 会長
- 2021-22年 2750地区 米山学友会 副会長 兼 理事、米山学友会による世界大会「再会 in 関東」のPR大使として活動
- 2023年 国際ロータリー第2750地区 日韓・日台親善会議特別委員会
- 2024年 2750地区 米山学友会 アドバイザー



[出席報告]

	会員数	出席免除	出席者数	MU	出席者数計	出席率
本日の例会	17	5	8	2	10	83.33%
前回の例会	17	5	8	0	8	66.67%
前々回の例会	17	5	8	2	10	83.33%

[スマイルボックス報告]

●小達郎様(幸手中央 RC)

8/10 米山部門セミナーがやっと終了しました。
10月より米山卓話月間です。

●中田盛夫会員

小林部門委員長、本日はありがとうございます。

●大橋秀樹会員

今朝、院長室のエアコンが壊れて死んでます。

●昆 裕司会員

今日はよろしくお祈いします。一昨日、娘が彼氏を連れて来ました。とてもいい人でした。良かった。マッチングアプリで知り合ったようです！

●八木泰典会員

小林さん、周さん、ようこそ。軽井沢に行ったら渋滞3時間巻き込まれました。もう行かない。

●菅野秀光会員

本日もよろしくお祈いします。毎日暑い！

●池田岩夫会員

立秋も過ぎて残暑も厳しいですが体調に留意して乗り切りましょう。

●石橋久充会員

小林部門委員長、卓話ありがとうございました。

本日の合計	¥9,000
今年の合計	¥48,000

[閉会点鐘]



例会の出席は、ロータリアンに課せられた最低の責任です。欠席の連絡は、必ずお願い致します。

クラブ事務所 TEL&Fax 0480-44-0056

公共イメージ委員会